

2018.2

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp

Tel & Fax :
022-211-9889

Address :
〒980-8579
仙台市青葉区荒巻字青葉
6-6-01-2

東北大学 大学院工学研究科
量子エネルギー工学専攻内

URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html

講習会『破面の見方と事故事例』のご報告

平成 29 年 10 月 13 日 (金)、日本保全学会東北・北海道支部主催の講習会「事故原因調査への破損解析技術の応用 破面の見方と事故事例」を、東北大学流体科学研究所で開催しました。本講習会は、野口徹先生(野口材料技術コンサルタント、元室蘭工業大学理事・副学長、北海道大学名誉教授)を講師としてお招きして、破損解析の手法について座学と実習を通して詳細に解説頂きました。今回は発電設備等の現場で働いている方々に加え、大学院生の参加もあり、16名の受講生を得ることができました。午前の座学においては、破損の発生部位と破損経過を推定し、原因を特定する手法について、長年にわたって多くの事故鑑定に関係されてきたご経験に基づいて、詳しく解説して頂きました。



<野口 徹 先生>



<座学の様子>

午後には、実際の破損部品のサンプルが配布され、受講生は破損原因の推定に挑戦しました。野口先生による破損部品の解説に皆納得すると共に、いろいろな観点から活発に質問がなされました。



<実習の様子>

今回は、参加した2名の大学院生に、講習会についての感想を寄せて頂きました。

東北大学 工学研究科 陳 偉熙 君

今回の講習会は実際の破面を手にとって観察することができるとも貴重な機会で、金属材料の特性とその使用箇所の性質から破壊の原因を推測する手法を学ぶという素晴らしい学習経験を積むことができました。さらにシャーロックホームズのように破面からその事故原因を分析した野口先生の解説はとてもわかりやすく、破損解析に大変興味をそそられました。

東北大学 工学研究科 小野 陽平 君

破面を見ることで部材の破壊の原因について推論していくのは想像していたより難しかったですが、実際に原因ごとの破面の特徴を教わってから観察してみると破面の違いが見られて面白かったです。また、野口先生の疲労破壊は初期破壊の一種であり破壊は決定論的に起こるものである、という考え方は非常に勉強になりました。